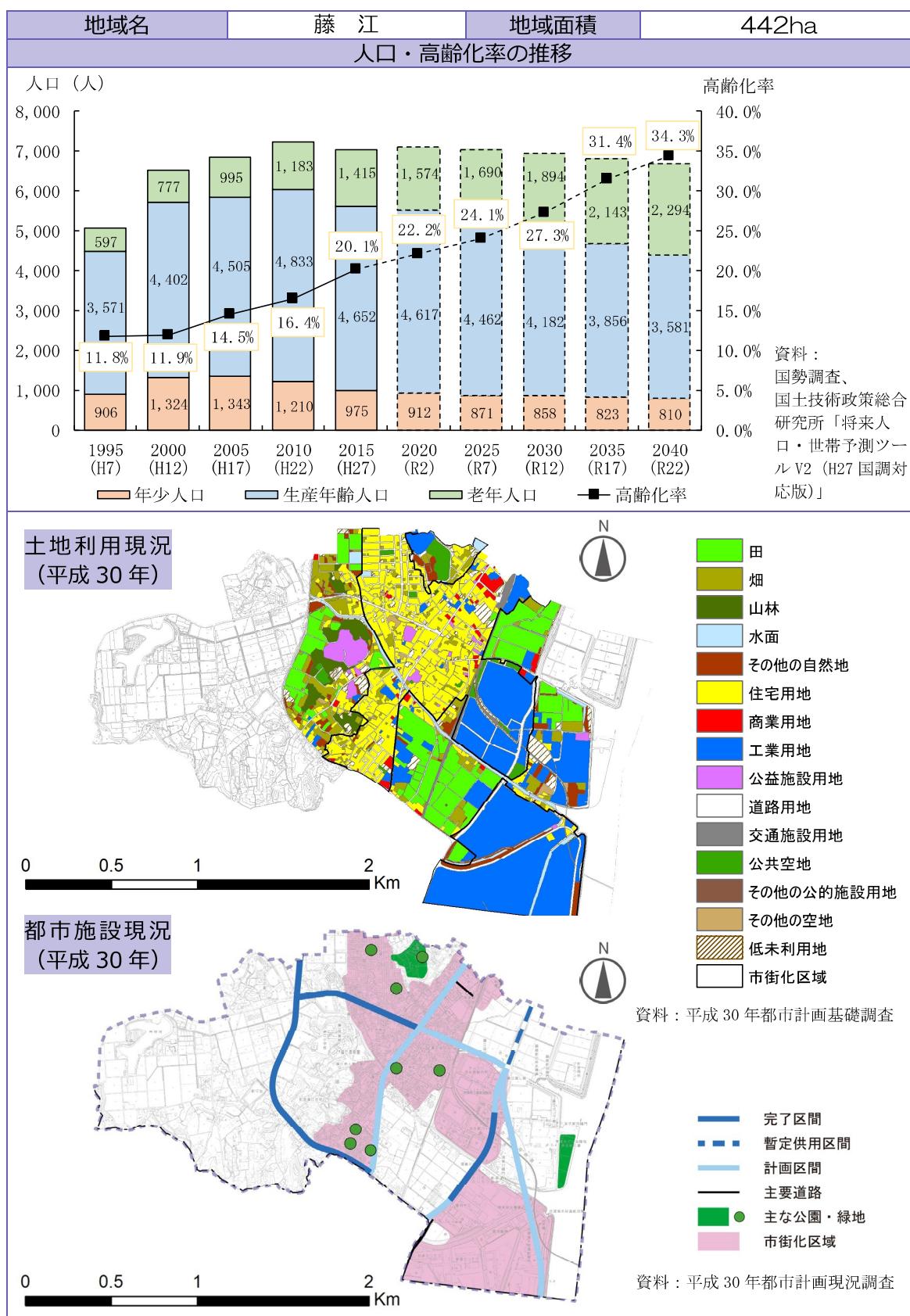
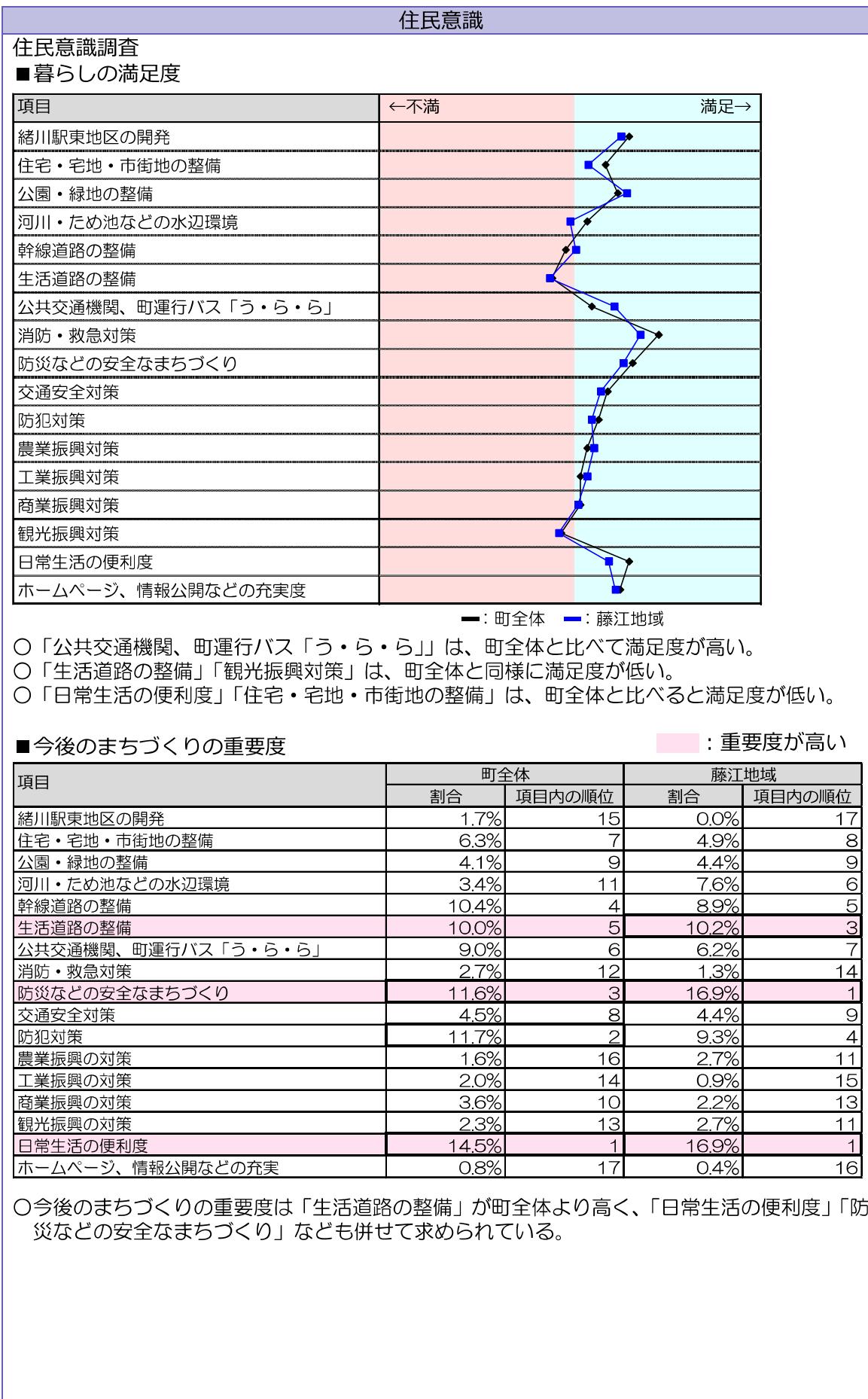


## 5-7 地域別構想（藤江地域）

## 1. 地域の現況





## 2. 課題の抽出

	現　　況	課　　題
土地利用・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふじが丘地区の土地区画整理事業の実施区域を除く住宅地は、狭い道路が複雑に入り組んだ住宅地となっている。</li> <li>○空き家・空き地が存在している。</li> <li>○ふじが丘地区の土地区画整理事業の実施区域や民間宅地開発地では、都市基盤が計画的に整備された住宅地を形成している。</li> <li>○地域の人口は平成27年以降、ほぼ横ばいの見込みである。</li> <li>○JR東浦駅周辺や(都)大府半田線沿道には、一部に比較的規模の大きな商業施設の立地がみられる。</li> <li>○東浦工業団地が本町の工業の拠点の1つとなっている。</li> <li>○地域西側の黒根池周辺などには農業基盤整備事業を実施した区域が広がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□住宅地における防災性の向上を図るために整備・改善が必要である。</li> <li>□空き家・空き地の有効活用が必要である。</li> <li>□これまでに整備した都市施設の計画的な維持管理が必要である。</li> <li>□人口を維持するため、良好な居住環境の形成を図る必要がある。</li> <li>□交通結節点や沿道の利便性を活かしていく必要がある。</li> <li>□生産機能の維持・向上を図る必要がある。</li> <li>□営農環境や農業生産性の維持を目指し、優良農地の保全を図る必要がある。</li> </ul>
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(都)大府半田線・衣浦西部線や藤江線などの都市計画道路が未整備となっている。</li> <li>○藤江公民館周辺の住宅地など市街化区域内においては、狭い道路が複雑に入り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□都市計画道路の整備を推進し、交通の円滑化を図ることが必要である。</li> <li>□歩いて暮らせる地域づくりや、子ども・高齢者・障がい者に配慮し、都市基盤の強化や安全に暮らせるまちづくりを進めていくための道路整備が必要である。</li> </ul>

	現　　況	課　　題
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災拠点となる三丁公園が暫定供用中である。</li> <li>○東浦みどり浜緑地が立地している。</li> <li>○住宅地内において、身近な公園などが立地している。</li> <li>○藤江神社や安徳寺などの社寺林が分布している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□三丁公園の整備を推進する必要がある。</li> <li>□衣浦湾の自然環境を活かした交流の場としての活用が必要である。</li> <li>□既存の公園は、住民と協力した維持管理や、安全・安心に配慮した公園としての機能向上を図る必要がある。</li> <li>□社寺林の縁を保全していく必要がある。</li> </ul>
下水道・河川・ため池	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市街化区域内の下水道（汚水）は、未整備の区域が存在するとともに、整備が完了している区域において未接続のところが存在する。</li> <li>○大雨などにより浸水が想定される区域が存在する。</li> <li>○須賀川に重要水防箇所の指定区域が存在する。</li> <li>○黒根池などのため池が存在する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□下水道（汚水）整備の推進を図るとともに、整備済の下水道（汚水）への接続を高め、清潔な生活環境を維持していく必要がある。</li> <li>□下水道（雨水）の整備による雨水対策を進める必要がある。</li> <li>□河川による水害への対策整備を促進する必要がある。</li> <li>□ため池の貯水機能の維持・管理とともに、水害への対策が必要である。</li> </ul>
自然環境・景観など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○藤江神社及び安徳寺など文化財を有する社寺が位置している。</li> <li>○明治時代頃からの集落が残されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□地域資源としてまちづくり活用していく必要がある。</li> <li>□歴史や生活文化、坂道のある細い路地の風情を活かした景観形成が必要である。</li> </ul>

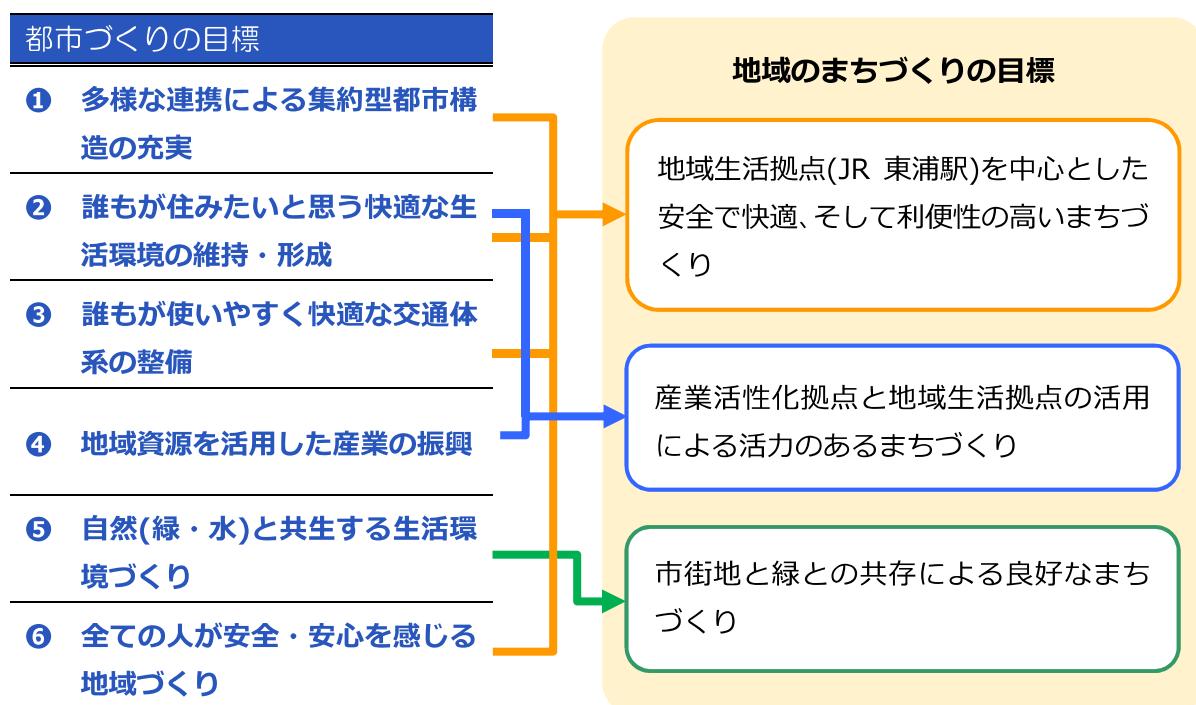
### 3. 地域のまちづくりの目標

#### 地域の特性

- 住宅地は、JR 武豊線から丘陵部にかけて発達してきており、一部に土地区画整理事業により整備された住宅地が広がっている。
- 東浦工業団地が整備されており、本町の工業の拠点の1つとなっている。
- (都)山ノ手線以西や、(都)衣浦西部線以東には優良農地が広がっている。

#### 地域の主要な課題

- JR 東浦駅周辺を地域の生活の拠点として整備
- 産業活性化拠点の東浦工業団地の活用
- 都市基盤の整備が行われていない住宅地における生活道路や歩道の整備による生活環境の改善



## 4. 土地利用の方針

### (1) 商業・観光交流地

- JR 東浦駅周辺は、本町南部の重要な地域生活拠点として、新たな商業や交流を生み出す施設の立地を誘導し、地域住民の生活に必要な機能が集積した生活利便性の高い地域生活拠点の形成を図ります。
- (都)大府半田線沿道は、日常生活に必要な施設立地を図る場としての機能の維持・向上を図ります。

### (2) 工業地

- 東浦工業団地は、周辺の農地などに配慮しつつ、工業地としての操業環境の維持・向上を図ります。
- 東浦工業団地周辺は、周辺の農地などとの調整を図りつつ、計画的な基盤整備とともに産業用地としての土地利用を検討します。ただし、津波災害警戒区域であるため、工業系市街地の整備にあたっては、必要な防災対策の実施など十分安全に配慮します。

### (3) その他の土地利用

- 工業検討地以外で農業基盤整備事業を実施した区域内は、生産性の高い優良農地として無秩序な宅地化を抑制し、保全を図ります。

## 5. 道路・交通の方針

- 都市計画道路の整備を進め、円滑で安全な道路環境の形成を図ります。

- ◎(都)衣浦西部線は、名古屋市を含む周辺都市との広域的な連携を形成する主要幹線道路として整備を促進し、産業活性化拠点への連絡強化を図ります。
- ◎(都)大府半田線は、周辺都市や町内の連携を形成する都市幹線道路として整備を促進します。また、一部区間において都市計画道路の線形の見直しを検討します。
- ◎(都)藤江亀崎線は、本町と半田市、町内の連携を形成する都市幹線道路として整備を促進します。
- ◎(都)藤江線は、地域を東西に連絡する補助幹線道路として整備を推進します。

- JR 東浦駅周辺においては駅前広場等の整備に併せ、パーク&ライド用の駐車場の確保を検討します。
- 町運行バス「う・ら・ら」は、新規路線や乗継に便利なダイヤの検討及びコンパクトなまちの各拠点を結ぶネットワーク機能を充実させ、更なる利便性の向上を促進します。
- 鉄道は、鉄道事業者との調整を行いながら便数の増加や施設のバリアフリー化により利用者の利便性の向上を目指します。

## 6. 公園・緑地の整備方針

- 三丁公園の整備を推進し、防災拠点として活用します。
- 東浦みどり浜緑地は、湾が持つ親水性を活かした緑地として、交流の場としての活用を図り、人々の憩いの場として良好な自然環境の維持・保全に努めます。
- 藤江神社及び安徳寺などの社寺林の緑は、保全を図り将来へ継承します。

## 7. 下水道・河川・ため池の整備方針

- 下水道（汚水）について、市街化区域においては下水道への接続の向上を図るとともに、適切な維持・管理に努めます。全体計画区域外で下水道（汚水）への接続が困難である地域では、個別処理の合併処理浄化槽設置を促進し、環境の整備を図ります。
- 水害の発生防止に向け、須賀川などの計画的な河川の整備を促進します。また、整備にあたっては景観の保全・創出に努めます。
- 黒根池などのため池は、ため池の持つ貯水機能の維持・管理を図るとともに、整備を要するため池は、水害の発生防止に向けた整備を推進します。また、周辺の景観を活かした親水空間の創出に努めます。

## 8. 自然環境・景観の方針

- 藤江神社及び安徳寺などの史跡や文化財は、地域の貴重な資源として、まちづくりに活用するとともに、将来へ継承します。
- 概ね明治時代からの集落では、歴史的なまち並み等を有していることから、良好な景観の保全及び形成に配慮します。

## 藤江地域 まちづくり方針図

